１ねんせい・２年生　かだいとしょ（かんそうぶん）

本のだいめいや書いた人	あらすじ（だいたいの本のないよう）	本のひょうし
『つくしちゃんとおねえちゃん』 いとうみく/作 丹地陽子/絵 出版社：福音館書店	頭がよくて、ものしりで、ぶ厚い本を読んでいて、ピアノはモーツァルトだってひけちゃう。だけど、ちょっと怒りっぽくていばりんぼう、そんなおねえちゃんはあたしの自慢です。 おねえちゃんは歩くとき、少し右足をひきずります。気が強くて優等生の小学4年生のおねえちゃんと、マイペースでちょっと不器用な小学2年生の妹つくしちゃん。妹の視点で、姉妹の日常をきりとった５編の物語です。	
『ばあばにえがおをとどけてあげる』 コーリン・アーヴェリス/作 イザベル・フォラス/絵 出版社：評論社	ばぁばはこのごろ元気がない。ケーキも焼かないし、お部屋もほこりだらけ。そして、笑わなくなった。「じんせいからよろこびがきえちゃったみたい」って、ママはいう。ファーンは、ばあばの人生に「よろこび」をとりもどしてあげようと、よろこび探しの旅に出かけます。 わたしたちに「よろこび」の意味をやさしく教えてくれる、おばあちゃんと孫娘のあたたかな物語です。	
『すうがくでせかいをみるの』 ミゲル・タンコ／作 福本友美子／絵 出版社：ほるぷ出版	うちのかぞくには、みんなそれぞれすきなことがある。すきなことがあるっていいな。なにかみつかるかな？　いろいろやってみてピンときたのは・・・・・・すうがく！ 世界をみる方法は、いくつもある--数学が大好きな主人公の、「すき」の気持ちがあふれるおはなし。「すきなこと」を通して、自分なりの世界の見方を見つける絵本。本のさいごに、主人公オリジナルの「数学ノート」付き！	
『おすしやさんにいらっしゃい』 おかだだいすけ/作 遠藤宏／写真 出版社：岩崎書店	『おすしやさんに　いらっしゃい』生きものが食べものになるまで 寿司職人が贈る魚とお寿司の写真絵本!キンメダイ、アナゴ、イカなど、釣り上げた魚をさばき、だんだんと美味しそうな切り身へとかわっていく様子を、動画のような連続性で見せる写真絵本です。魚のとくちょうや部位の名前も解説しています。最後はお寿司になって登場! みんなで美味しくいただきます。「命をもらって生きている自分を大切に」とメッセージを贈ります。	